

## 情報公開文書

作成日：2019年10月16日

「乳房用自動超音波画像診断装置 (Automated Breast Ultrasound System : Invenia ABUS) を併用した対策型検診の初期成績に対する検討」について

### はじめに

大阪ブレストクリニックでは、下記患者さまを対象に観察研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

### 1. 研究概要および利用目的

大阪ブレストクリニック学園前の対策型検診において超音波検査の追加を希望される受診者が増加していますが、超音波エコーに習熟した術者の確保等の問題があり希望に添えない場合も多く見られました。その為2017年より対策型検診にABUSを導入しました。本研究の目的はABUS併用検診とHHUS併用検診の検診成績を比較し、ABUSの現時点での問題点を考え、画像の特徴を理解した上で安心して検診を受けて頂けようとする事です。

### 2. 研究期間

2017年5月～2018年2月に当院（大阪ブレストクリニック学園前）で対策型検診を受けた2063名

### 3. 検討項目

①MMG単独検診、HHUS併用検診、ABUS併用検診についてプロセス指標算出

②HHUS併用検診、ABUS併用検診の要精査例を比較

### 4. 個人情報保護の方法

個人情報、検査結果などの記録、保管は第三者が直接患者さまを識別できないよう登録時に定めた登録番号を用いて行います。

### 5. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータをご提供いただいた患者さま個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、本研究結果が今後の乳癌診療の向上に有用となる可能性があります。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

### 6. 研究終了後のデータの取り扱いについて

患者さまよりご提供いただきました試料・情報は、研究期間中は大阪ブレストクリニックにおいて厳重に保管いたします。ご提供いただいた試料・情報が今後の医学の発展に伴って、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があり、将来そのような目的（研究）に使用することがあるため、研究終了後も引き続き大阪ブレストクリニックで厳重に保管させていただきます。（保管期間は最長で10年間です。）

ただし、患者さまが本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

なお、保存させていただいたデータを用いて新たな研究を実施する際には、その研究について、医学倫理委員会で再度、審査を受けることとなっております。

#### 7. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さまの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さまの個人情報が明らかになることはありません。

#### 8. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さまのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

#### 9. 研究機関

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。

代表研究機関（主任研究者）

責任医師：芝英一

分担技師：山本絹子、藤井直子、鷹居祥子

#### 10. 試料・情報等の保存・管理責任者

この研究の試料や情報を保存・管理する責任者は以下のとおりです。

大阪プレストクリニック

責任者：芝英一、山本絹子、藤井直子

#### 11. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

大阪プレストクリニック

院長 芝英一

医療技術部 山本絹子、藤井直子

連絡先：06-6465-4108